



三遠南信地域連携の新ビジョン最終案を提出する池上重弘委員長(左)＝8日午前、浜松市役所

# 三遠南信に交通網

浜松で  
策定委  
新ビジョン最終案提出

遠州、愛知県東三河、長野県南信州の官民連携組織「三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SEN A)」の新ビジョン策定委員会の池上重弘委員長(静岡文化芸術大副学長)が8日、浜松市役所で新ビジョン最終案をSEN A会長の鈴木康友市長に提出した。交通網や産業構造の変化、人口減に対応した持続可能な地域づくりの指針で、今月中に決議される見通し。

新ビジョンの計画期間は2019～30年度。三遠南信自動車道やリニア中央新幹線などを生かした交通

このうち「稼ぐ力の強化」では、食農産業クラスターの形成や第4次産業革命を先取りした新産業の創出、集積などを目指す。圏域内で盛んな軽トラ市などのソーシャルビジネスも促進する。

池上委員長は「今後10年で道路などのハード整備が進み、新たな産業連携が生まれるよう期待したい」と話した。鈴木市長は「広域的な課題にどう取り組むか、具体策が問われる」と語った。

(浜松総局・豊村喬)